

F2-6

関東地方における2001年以降の大学キャンパスの新設・移転・撤退に関する研究
 Research on changes in universities (new establishment, relocation, withdrawal) since 2001 in the Kanto area

○山田大輔¹, 生駒岳大¹, 渡辺奈々美¹, 謝培煬¹, 松田優哉¹, 神田侑伎乃², 山崎晋³

* Daisuke Yamada¹, Takahiro Ikoma¹, Nanami Watanabe¹, Peiyang Xie¹, Yuya Matsuda¹, Yukino Kanda², Shin Yamazaki³

Abstract: The purpose of study is to analyze the universities campuses where had the change in the past 20 years, located in the Kanto area. And this study was analyzed a trend of the new establishment, relocation and withdrawal of the past twenty-years. Furthermore, by focusing on the site area and the number of enrolled students, we will grasp the characteristics of changes depending on the scale of each university and consider the future university campus.

1. まえがき

18歳人口が減少する中での大学経営面や大学の立地規制緩和等を背景に、時代の変化と共にキャンパス移転や新設を行う大学が増えている。

一方、既往研究をみると大学キャンパスの移転や新設等に関する研究は多くはない。そこで本研究では、2001年以降の大学キャンパスの新設・移転・撤退の実態と特徴を明らかにすることを目的とする。

2. 研究方法

本研究では2001年から2020年までに大学キャンパスの新設・移転・撤退の変化のあった関東地方の大学キャンパス全155事例を全国大学一覧より抽出し、所在地や開設年、敷地面積等のキャンパス情報を大学のホームページ、新聞記事等から調査した。次に表・図にまとめ、大学の規模別の傾向を分析した。

本研究では、新設とはキャンパスを新たに開設すること、移転とはキャンパスを閉鎖し他の場所へ移すこと、撤退とは大学自体がなくなる、大学規模を縮小するためにキャンパスを閉鎖することと定義する。また、大学の規模を入学定員が2000人以上を大規模、1000人以上2000人未満を中規模、1000人未満を小規模の大学と定義する。

3. 結果と考察

図1より、対象とする全155キャンパスの新設・移転・撤退の割合は、新設76.1%、撤退14.2%、移転9.7%の順となり、新設されたキャンパスが多い傾向にある。また、移転と撤退を見ると移転よりも撤退するキャンパスが多い傾向にあることが分かる。

Table1: Number of new establishments, relocations, and withdrawals in each region

	新設	移転	撤退	計
茨城	4	0	0	4
栃木	6	0	2	8
群馬	10	0	4	14
埼玉	11	2	3	16
千葉	17	4	0	21
東京	52	6	7	65
神奈川	18	3	6	27
計	118 (76.1%)	15 (9.7%)	22 (14.2%)	155 (100%)

表1より、対象とする大学キャンパス全155キャンパスの新設・移転・撤退件数は東京都内が最も多い。

(1) 新設キャンパスの実態と特徴

図2より、2001年以降に新設されたキャンパスは都心部に多い傾向にある。特に23区内では、敷地面積が小さく、入学定員数が多い大規模大学が集積していることが分かる。また、郊外の中心都市周辺に位置しているキャンパスは比較的敷地面積が小さくなる傾向にある。人口の多い地域には大規模大学が多く、郊外になるにつれて中・小規模大学が多く見られた。

表2より新設されるキャンパスは東京都に近いほど設置数が多い。特に東京都の23区内は設置される件数が多い。年代に着目すると、2001~2006年、2007~2011年が多い。この結果より、2002年に工場等制限法が廃止されたことに伴い、実際のキャンパス設置の実態と

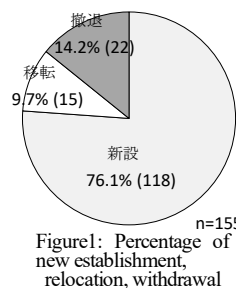


Figure1: Percentage of new establishment, relocation, withdrawal

Table2: Number of new establishment campuses installed by generation, prefecture

	2001~2006年	2007~2011年	2012~2016年	2017~2020年	計
茨城県	2	1	1	0	4
栃木県	3	2	0	1	6
群馬県	3	3	0	4	10
埼玉県	5	4	0	2	11
千葉県	5	6	1	5	17
東京都(23区内)	10	17	8	7	42
東京都(23区外)	2	1	5	2	10
神奈川県	8	6	3	1	18
計	38	40	18	22	118

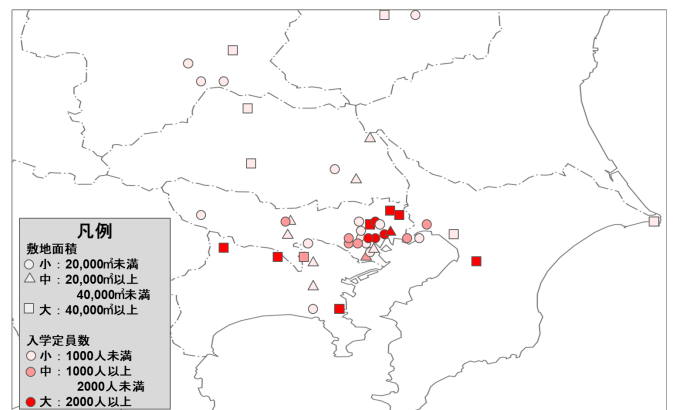


Figure2: New establishment illustration

1: 日大理工・学部・まち 2: 日大理工・院(前)・まち 3: 日大理工・教員・まち

しても人口の多い都心部にキャンパスを設置していることを捉えた。また、2001年以降に新設されたキャンパスは東京都23区内が多いことから敷地の確保が難しく、敷地面積が20,000㎡以下のキャンパスが半数以上を占めている(表3)。

(2) 移転キャンパスの実態と特徴

図3より、入学定員数でみた移転の規模の割合は、1000人未満が50.0%、1000人以上2000人未満が16.7%、2000人以上が33.3%となっており、小規模が半数と多く中規模が少ない傾向にある。

図4、5より、2001年から2020年の間に移転したキャンパスの多くが都心回帰している傾向にある。郊外から都心に向けて移転している大学は入学定員数が1000人未満の小規模大学が多く、移転距離は1~25kmが6件中4件を占めている。入学定員数が1000人以上2000人未満の中規模大学は2件あり、都内で移転している傾向がある。入学定員数が2000人以上の大規模大学は4件中3件の移転先が東京都内である。

表4より都心回帰しているキャンパスは移転後の敷地面積が減少している傾向にある。都心から都心へ移転している大学と、郊外から郊外に移転している大学は移転後、敷地面積の増加件数が多い傾向がある。

(3) 撤退キャンパスの実態と特徴

図6の廃校・撤退図より23区付近では入学定員数が

2000人以上のキャンパスが多い。入学定員数による撤退の規模の割合は高い順に1000人未満が60.0%、1000人以上2000人未満が20.0%、2000人以上が20.0%となっており、入学定員数が1000人未満のキャンパスが撤退している(図7)。

4. まとめ

大学・キャンパスは大学入学定員数の調整による拡大・抑制政策や国土交通省の国土計画に基づく大学の立地の調整により、大学の移転や新設が時代の変化と共に行われてきた。それに伴う大学の規模の実態を詳しく調査していく中で、在籍している学生が多い大規模大学のキャンパスはアクセスがしやすく、人口の多い東京都23区内や郊外の中でも中心部となるような地域に集積していることが本研究で明らかになった。

5. 参考文献

- [1] 文部科学省：「全国大学一覧(2001年版~2020年版)」
- [2] 斎尾直子・真藤翔・石原宏己：「首都圏における大学キャンパスの新設・撤退の動向と撤退後の跡地利用実態」, 日本都市計画学会 都市計画論文集, Vol.49, No.3, pp.933-938, 2014.

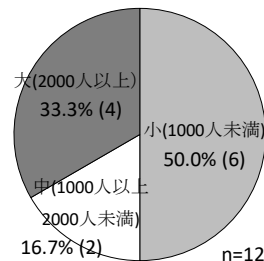


Figure3: Scale of relocation as seen from enrollment capacity

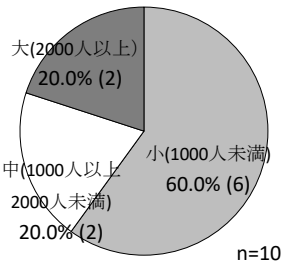


Figure7: Scale of withdrawal as seen from enrollment capacity

Table3: Site area of new establishment campus

	0~9,999㎡	10,000~19,999㎡	20,000~29,999㎡	30,000~39,999㎡	40,000~49,999㎡	50,000㎡以上	不明	計
新設	36	20	16	6	8	14	18	118

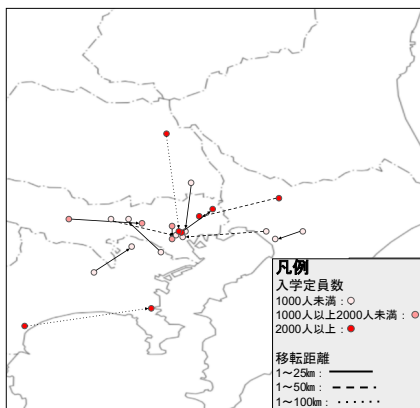


Figure4: Relocation illustration (enrollment capacity and relocation distance)



Figure5: Relocation illustration (site area * relocation distance)

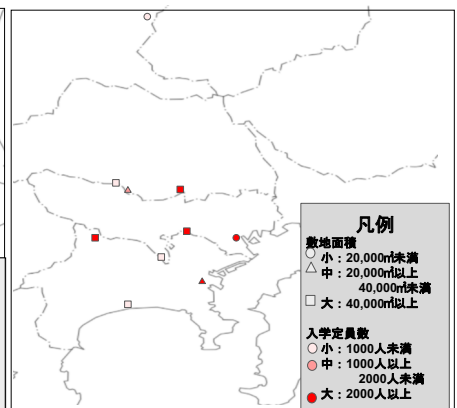


Figure6: Withdrawal illustration

Table4: Relocation campus details

移転パターン	大学名	移転前キャンパス名	移転前住所	移転前敷地面積	移転先キャンパス名	移転先住所	移転先の敷地面積	移転前キャンパスからの距離								入学定員数	敷地面積の変化	
								0km	10km	20km	30km	40km	60km	70km	100km			
都心回帰	東京歯科大学	千葉	千葉県千葉市美浜区	81,193㎡	水道橋	東京都千代田区	3,119㎡	●	○	○	○	○	○	○	○	○	845人	減少
	日本医科大学	新丸子校舎	神奈川県川崎市中原区	13,561㎡	武蔵境	東京都武蔵野市	8,578㎡	●	○	○	○	○	○	○	○	○	196人	減少
	東京理科大学	久喜	埼玉県久喜市	136,507㎡	神楽坂	東京都新宿区	11,033㎡	●	○	○	○	○	○	○	○	○	5414人	減少
	東京電機大学	千葉ニュータウン	千葉県印西市	205,058㎡	東京千住	東京都足立区	34,367㎡	●	○	○	○	○	○	○	○	○	10029人	減少
都心から都心	上野学園大学	草加	埼玉県草加市	5,010㎡	上野	東京都台東区	5,000㎡	●	○	○	○	○	○	○	○	○	170人	減少
	杏林大学	八王子	東京都八王子市	130,000㎡	井の頭	東京都三鷹市	93,974㎡	●	○	○	○	○	○	○	○	○	1057人	減少
	文化学園大学	小平市上南	東京都小平市	12,117㎡	新宿新都心	東京都渋谷区	33,449㎡	●	○	○	○	○	○	○	○	○	884人	増加
	東京理科大学	九段校舎	東京都千代田区	13,790㎡	葛飾	東京都葛飾区	93,728㎡	●	○	○	○	○	○	○	○	○	5414人	増加
郊外から郊外	東京音楽大学	池袋	東京都豊島区	2,717㎡	中目黒	東京都目黒区	6,850㎡	●	○	○	○	○	○	○	○	○	1338人	増加
	敬愛大学	佐倉	千葉県佐倉市	59,987㎡	稲毛	千葉県千葉市	27,764㎡	●	○	○	○	○	○	○	○	○	455人	減少
	昭和音楽大学	厚木	神奈川県厚木市	29,000㎡	川崎	神奈川県川崎市麻生区	50,000㎡	●	○	○	○	○	○	○	○	○	330人	増加
	関東学院大学	小田原	神奈川県小田原市	50,000㎡	金沢八景	横浜市金沢区	84,515㎡	●	○	○	○	○	○	○	○	○	2815人	増加